B6FJ-5731-02

テレビ操作ガイド

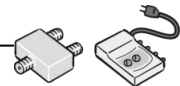
目次

このマニュアルの表記について 4
安全上のご注意 5
お使いになるうえでのご注意 6
第1章　テレビを見る 7
1.1　テレビを見るための準備をする 7
1.2　テレビを見るときの注意 11
1.3　テレビを見る 13
1.4　番組表を使う 15
1.5　データ放送を見る 17
1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について 18
第2章　テレビを録る 20
2.1　録画の前に 20
2.2　テレビ番組を録画する 31
2.3　録画した番組を再生する 34
2.4　録画した番組をディスクに書き出す 35
2.5　録画した番組を携帯機器に書き出す 39
第3章　困ったときのQ&A 43
3.1　画面がおかしい 43
3.2　音が聞こえない／変な音が聞こえる 48
3.3　操作ができない 49
3.4　メッセージが表示される 53
索引 55

受信環境の確認

地デジを受信できる環境であるか確認しましたか？
まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置工事が必要です。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

注：地上デジタル放送が受信できる環境でも、お使いの状況によって、次のような機器が必要になる場合があります。
・ブースター／アッテネーター／分配器／混合器
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るためには

手順	参照先
付属品を確認する	『箱の中身を確認してください』
リモコンの準備をする	『取扱説明書』
アンテナ線を接続する	『取扱説明書』
B-CASカードを挿入する	『取扱説明書』
初回設定を行う	「1.1　テレビを見るための準備をする」の「STEP3.　「DigitalTVbox」の初回設定をする」
見る	「1.3　テレビを見る」

見ることができないときは？
「3.1　画面がおかしい」の「地上デジタル放送が映らない」

■問合せ先（地デジ放送について）

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570-07-0101（IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111）
受付時間：平日…9時から21時　　土日・祝日…9時から18時

（社）デジタル放送推進協会（略称：「Dpa／ディーピーエー」）のホームページも見てみよう！

http://www.dpa.or.jp/

デジタル放送に関する情報をご覧になれます。

・地デジとは？
・自分の住んでいるところに電波がきているのかなぁ
・未対応地域の放送開始予定など
・BS・110度CSデジタル放送について

（2010年11月現在）

このマニュアルの表記について

●画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

●本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
冊子アイコン	冊子のマニュアルを表しています。
Web	Webで公開している『補足情報』を表しています。 『補足情報』は次の手順で表示します。 1. インターネットに接続した状態で、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「@メニュー」の順にクリックします。 2. 「@メニュー」の「安心・サポート」から「富士通のパソコンのマニュアルを見る」を選択し、「このソフトを使う」をクリックします。

●製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Professional正規版	Windows
Windows® 7 Home Premium正規版	Windows
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer
Corel® Digital Studio™	Corel Digital Studio
Corel® Direct DiscRecorder™	Corel Direct DiscRecorder
Corel® WinDVD®	WinDVD
PSP®	PSP
Fujitsu PowerDVD9 3D Player	PowerDVD

●本文中の表記について

本書には、複数の機種の内容が含まれています。
お使いの機種によって、搭載されている機能が異なります。
『取扱説明書』の「仕様一覧」で確認して、お使いの機種にあった記載をお読みください。

●操作説明について

- このマニュアルでは、リモコンを使った操作を中心に説明しています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。また、一部マウスでの操作が必要な項目については、その旨を記載しています。

リモコンでの操作	マウスでの操作
‹↕›で「確定」を選択し、【決定】を押します	「確定」をクリックします

- 本文中の操作手順において、連続する操作手順は「▶」でつなげて記述しています。

例）（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

…（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」の順にクリックします。

- LIFEBOOKをお使いの場合、このマニュアルで「マウスで操作する」とある箇所は、フラットポイントでも操作できます。

●商標および著作権について

安全上のご注意

●このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報です

本製品でテレビ、DVD、Blu-ray Disc、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続したりしてご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激や点滅の繰り返しを受けることによって一時的な筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

お使いになるうえでのご注意

●大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびディスクを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

●ハードディスクについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに書き出したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

●停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、ハードディスクに保存してある録画番組が損なわれたりすることがあります。大切な録画番組は、DVDやBlu-ray Discに書き出すことをお勧めします。
- 録画中やディスクへの書き出し中に停電などが起こると、録画や書き出しに失敗したり、ハードディスクから録画番組の一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

●著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

●本製品における**MPEG-4**ライセンスについて

本製品は、MPEG-4ビジュアル規格特許ライセンスを管理するMPEG LA LLCから弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供しているものです。MPEG-4ビジュアル規格に準拠した態様で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許可されています。上記以外の使用については許可されておりません。

●**LIFEBOOK**をお使いになるときのご注意

LIFEBOOKでテレビ機能を使用するときは、パソコン本体にACアダプタを接続してください。

第1章　テレビを見る

本章では、テレビを見る前にあらかじめ必要となる準備、注意事項、リモコンの操作方法、番組表の見方などについて説明します。

1.1　テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。ここでは、テレビを見るための準備について説明します。

■ デジタル放送について

デジタル放送には、地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送があります。
BSデジタル放送、110度CS放送を見るためには、事前に放送事業者と受信契約をする必要があります。すでに契約をしている場合は、新たに契約をする必要はありません。また、個人でアンテナを設置している場合は、アンテナに電源を供給する必要があります。詳しくは、「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧ください。

■ 地上デジタル放送を見るための準備

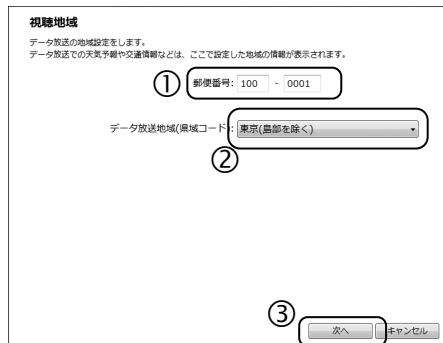
地上デジタル放送を見るためには次の準備が必要です。

STEP1.　お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年11月現在）で、お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内であるか確認することができます。

STEP2.　アンテナケーブルを接続し、**B-CAS**カードをセットする

『取扱説明書』をご覧になり、アンテナケーブルの接続とB-CASカードのセットを行ってください。

B-CASカードについて

- このマニュアルでは、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。
- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B -CASカードについての詳細は、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B -CASカードは、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）社との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。

- B -CASカードの紛失・盗難時や、破損したり汚れたりした場合は、B-CAS社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）　カスタマーセンター

  電話番号：0570-000-250［IP電話の場合045-680-2868］

  受付時間：10：00～20：00

STEP3. 「DigitalTVbox」の初回設定をする

「DigitalTVbox」の初回設定は、マウスを使って行います。

1. （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「**PIXELA**」▶「**DigitalTVbox**」▶「**DigitalTVbox**」の順にクリックします。

「ソフトウェア使用許諾書」の画面が表示されます。

2. 内容を確認し、「はい」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

3. お住まいの地域の郵便番号などを設定します。

① 郵便番号を入力します。

②「データ放送地域（県域コード）」から、お住まいの地域を選びます。

③「次へ」をクリックします。

4. 「チューナー／アンテナ」画面でアンテナ電源の「**ON**」または「**OFF**」を選択し、「次へ」をクリックします。

アンテナ電源について、詳しくは「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧ください。

5. 「地域／チャンネルスキャン」画面で、「アンテナ線との接続を確認してください。」と「**B-CAS**カードとの接続を確認してください。」の☐をクリックして☑にします。

6. 利用する放送波と地域を選択します。

① 利用する放送波を選択します。

② 利用する地域を選択します。
BS・110度CSデジタル放送だけを設定する場合は、地域を選択する必要はありません。

③「スキャン開始」をクリックすると、スキャンが開始されます。

7. スキャンが完了したら、「次へ」をクリックします。

8. 録画番組を保存するハードディスクドライブを指定します。

① 「保存先ドライブ設定」のリストから、録画番組を保存するハードディスクドライブを選び、□をクリックして☑にします。
ここで複数のハードディスクドライブを選んでおくと、ひとつのハードディスクドライブの空き容量が不足してしまったときにも、別のハードディスクドライブに録画番組を保存することができます。

② 「最初に使用する保存先ドライブ」を選びます。
複数のハードディスクドライブを保存先として設定している場合に、優先して保存するハードディスクドライブを設定します。
通常は、「D: ¥STVLERec¥」を選択してお使いください。

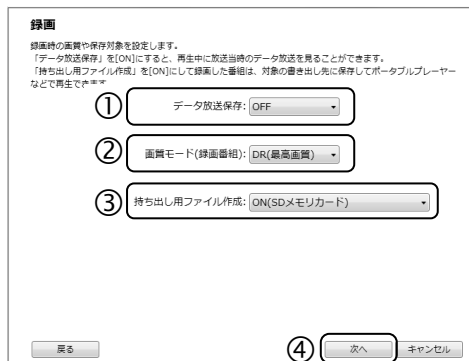
③ 「次へ」をクリックします。

9. 「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「持ち出し用ファイル作成」を指定します。

① データ放送のデータを保存するかを指定します。

② 番組を録画するときの画質を指定します。

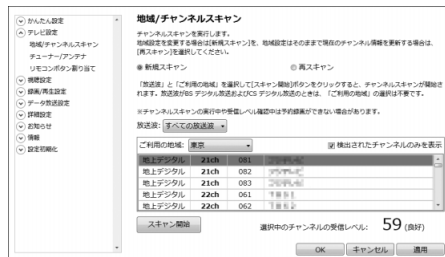
③ 録画番組を携帯電話やPSP、ウォークマンに書き出す場合、書き出したい外部記憶媒体を指定します。
携帯電話に書き出す場合は、「ON（SDメモリカード）」を、PSPまたはウォークマンに書き出す場合は、「ON（メモリースティック／PSP／ウォークマン）」を選択してください。

④ 「次へ」をクリックします。

10. 「完了」画面が表示されたら、「**OK**」をクリックします。

11. テレビの視聴画面が起動します。

画面上でマウスをクリックすると、操作パネルが表示されます。
これで初回設定は完了です。

Point 受信レベルの確認

「DigitalTVbox」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうかを確認することができます。
テレビ画面上でマウスをクリックすると表示される操作パネルから「メニュー」▶「設定」の順にクリックすると、「DigitalTVbox[設定画面]」が表示されます。
「テレビ設定」▶「地域／チャンネルスキャン」の順にクリックし、放送局を選択すると、受信レベルが表示されます。
受信レベルが60前後（またはそれ以上）になっていればアンテナの角度が最適の状態で、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。

受信レベルが低い場合は、操作パネルから、「メニュー」▶「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」▶「アッテネータ設定」の設定を変更することで、改善されることがあります。

1.2 テレビを見るときの注意

ここでは、このパソコンのテレビ機能をお使いになるときに注意していただきたいことを説明します。

■ 電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。

- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。この場合は、テレビ画面上でマウスをクリックすると表示される操作パネルから、「メニュー」▶「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」▶「アッテネータ設定」の設定を変更することで、改善されることがあります。それでも改善できないときは、ご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。

■ テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

- 「DigitalTVbox」は、他のソフトウェアと同時に使ったり、使用中にスクリーンセーバーを動作させたりしないでください。「DigitalTVbox」をお使いのときに、「Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）」や「WinDVD」など他のソフトウェアやスクリーンセーバーが動作していると、音声が途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- シャットダウンや再起動をする場合や、スリープや休止状態にする場合は、【終了】を押して「DigitalTVbox」を終了してください。
- デジタル放送の5.1チャンネル音声は、NH77/CDをお使いの場合、光デジタルオーディオで接続している機器でのみ再生できます。その他の場合は、2チャンネルのステレオ音声に変換（ダウンミックス）されます。
- 電源プランの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」でお使いください。
  （スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックすると、電源プランを設定するウィンドウが表示されます。ここの設定を「バランス」または「高パフォーマンス」にしてください。
  上記以外の設定の場合、映像がコマ落ちすることがあります。
- ダブル録画に対応していない機種の場合、録画中は録画している番組のみ視聴することができます。
- ダブル録画に対応している機種の場合、1つの番組を録画中に別の番組を視聴することはできますが、ダブル録画中は録画中のどちらかの番組しか視聴できません。ダブル録画中に視聴する番組を切り替える場合は、【チャンネル／ページ】を押します。

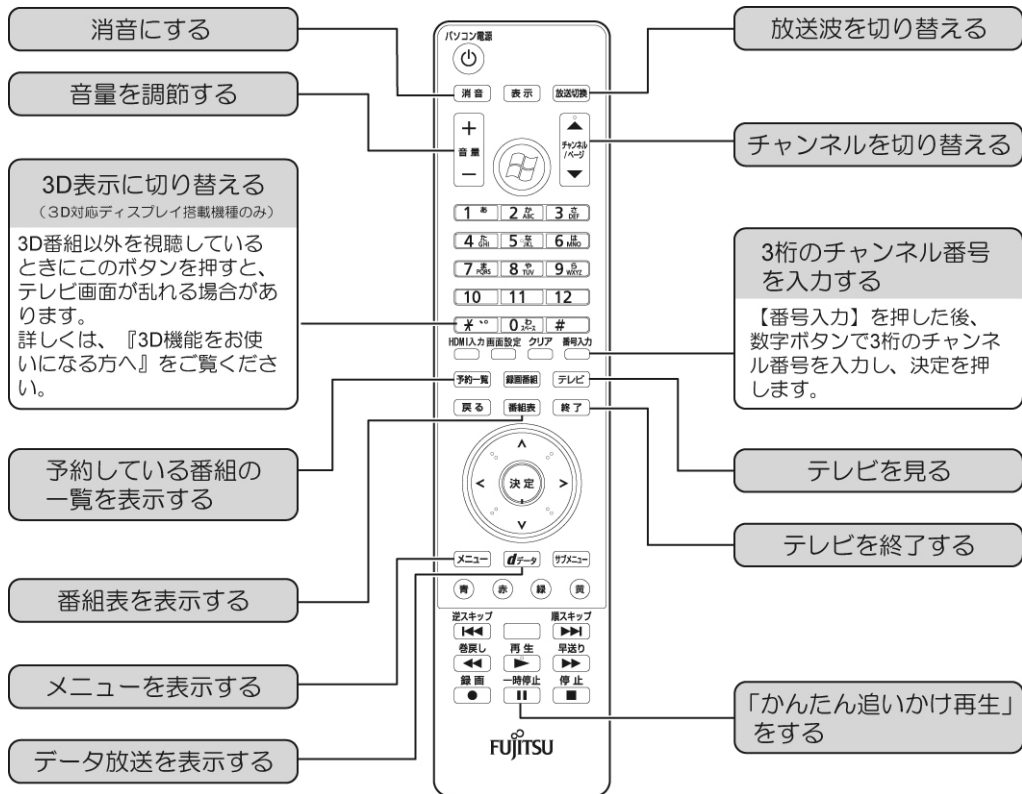
■ その他の注意

- 「DigitalTVbox」の使用中に、画面の各種設定を変更しないでください。
  また、画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合は、デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューの「画面の解像度」をクリックして、設定し直してください。
  ご購入時の設定については、『取扱説明書』の「仕様一覧」を確認してください。

- 定期的にデフラグを実行してください。ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクへの読み書き速度が低下します。定期的なデフラグの実行をお勧めします。
  （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「システムツール」▶「ディスクデフラグ ツール」の順にクリックすると、ディスクデフラグを実行するウィンドウが表示されます。

1.3　テレビを見る

ここでは、テレビの起動／終了方法と、テレビの基本的な操作を説明します。
リモコンでの操作とマウスでの操作があります。

1.3.1　リモコンで操作する

Point　かんたん追いかけ再生

テレビ番組の視聴中に、少し席をはずしたいときは【一時停止】を押してください。戻ってきたときに【再生】を押せば、一時停止した場面から視聴できます。

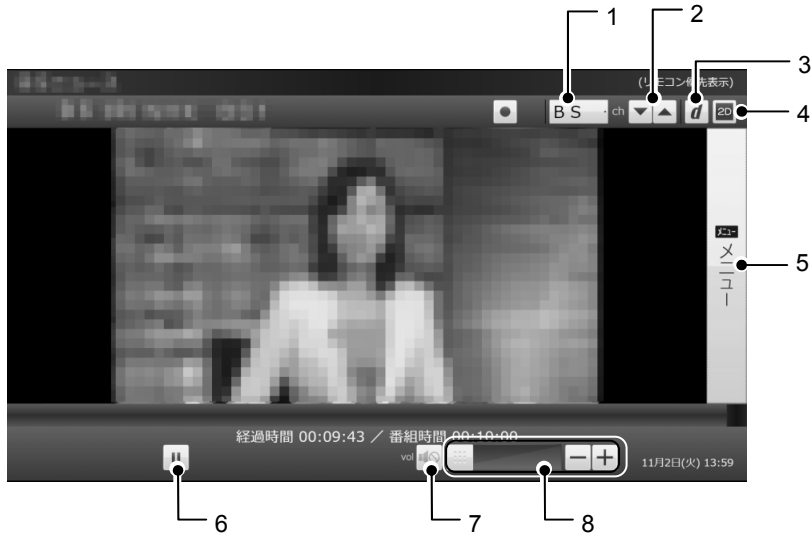
「かんたん追いかけ再生」した番組は、その番組が終了するまで録画されています。

1.3.2　マウスで操作する

■ テレビを起動する

マウスを使ってテレビを起動するときは、
（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」▶「DigitalTVbox」の順にクリックします。

■ 操作パネルの使い方

テレビの視聴中にテレビ画面をクリックすると、操作パネルが表示されます。

1	放送波を切り替えます。	5	メニューを表示します。
2	チャンネルを切り替えます。	6	テレビを見ているときに、「かんたん追いかけ再生」ができます。詳しくは、「1.3.1 リモコンで操作する」の「かんたん追いかけ再生」をご覧ください。
3	データ放送を表示します。	7	をクリックしてにすると、消音になります。 もう一度クリックすると元の音量に戻ります。
4	3D表示に切り替える（3D対応ディスプレイ搭載機種のみ）。 3D番組以外を視聴しているときにこのボタンを押すと、テレビ画面が乱れる場合があります。 詳しくは、『3D機能をお使いになる方へ』をご覧ください。	8	を左右に動かす、または－ ＋をクリックして、音量を調節します。

1.3.3　字幕や音声などの設定を変更する（メニュー）

メニューを使うと、簡単に字幕や音声の切り替えなどを行うことができます。

1. テレビ画面が表示されている状態で、【メニュー】を押します。

2. ‹∧∨›で設定したい項目を選択し、設定の変更を行います。
3. もう一度【メニュー】を押すと、メニューが終了します。

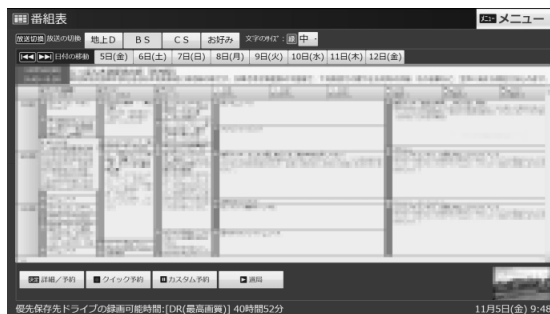
Point マウス操作

マウスを使って操作する場合は、テレビの画面上で右クリックすると、メニューが表示されます。

1.4　番組表を使う

このパソコンには、放送波からテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。

番組表を使うと、次のことができます。

- 番組表を見る
- 番組を探す
- 番組表で録画予約する（詳しくは、「2.2.2　録画予約する」をご覧ください。）

■ 番組表の操作

リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
番組表を表示する／閉じる	番組表
選択している番組の詳細情報を見る	決定
前日の番組表を表示する	逆スキップ ⏮
翌日の番組表を表示する	順スキップ ⏭
番組を録画予約する	録画 ●

■ 番組を探す

番組のジャンルを絞り込んで、見たい番組を探すことができます。

1. 番組表を起動した状態で、【メニュー】を押し、「番組検索」を選択し、【決定】を押します。

2. 【赤】を押し、‹⌃⌄›でジャンルを選択し、【決定】を押します。

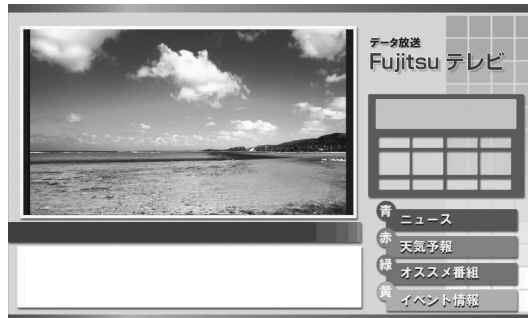
重要　番組表を使うときの注意

- 番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。また、受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。
- 番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。

1.5　データ放送を見る

「データ放送」とは、番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどの回線を利用して、クイズに答えるなど、番組に参加することができます。

■ データ放送の見かた

1. テレビ画面が表示されている状態で、【**dデータ**】を押します。

2. 〈◇〉、【決定】、【青】、【赤】、【緑】、【黄】などのボタンで操作します。

データ放送の画面では、マウスでの操作はできません。

3. もう一度【**dデータ**】を押すと、データ放送が終了します。

重要　データ放送を見るときの注意

- 録画番組にデータ放送のデータを保存する場合は、録画設定で「データ放送保存」を「ON」に設定します。
- 双方向サービスの利用には、有線LANによるインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。
- 双方向サービスは、インターネット接続を利用してデータの送受信を行う形式が中心ですが、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送の一部の番組では、電話回線を使った双方向サービスが提供されています。電話回線を使った双方向サービスはご利用になれませんのでご注意ください。
- 双方向サービスを利用する場合は、「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」▶「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について

BS・110度CSデジタル放送用アンテナに供給する電源を、「アンテナ電源」といいます。電源がアンテナに供給されないと、BS・110度CSデジタル放送の映像が表示されません。
アンテナ電源の供給方法は、お住まいの種類やご使用のパソコンにより異なります。

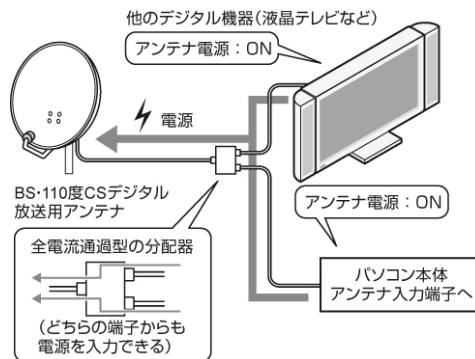
■ アパート・マンションなどの共同住宅の場合

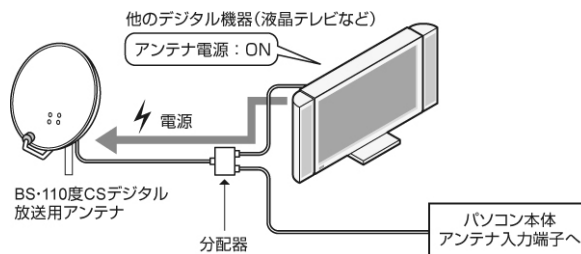
共同アンテナが設置されている場合は、各家庭からの電源供給は不要です。

■ 一戸建て住宅の場合

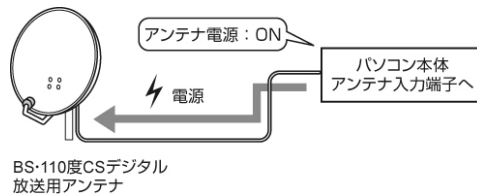
アンテナを共有している

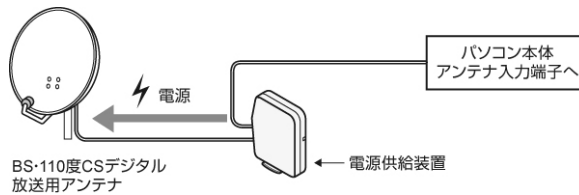
ESPRIMO

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有している場合は、パソコンとデジタル機器の両方から電源を供給します。
「DigitalTVbox」の「アンテナ電源」を「ON」に設定すると、デジタル機器からもアンテナへ電源を供給します。全電流通過型の分配器が必要になる場合があります。

LIFEBOOK

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有している場合は、アンテナ電源を供給可能なデジタル機器から電源を供給します。

アンテナを共有していない

ESPRIMO

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有していない場合は、パソコンから電源を供給します。
【メニュー】を押して表示されるメニューから、「設定」▶「チューナー／アンテナ設定」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「ON」に変更してください。

LIFEBOOK

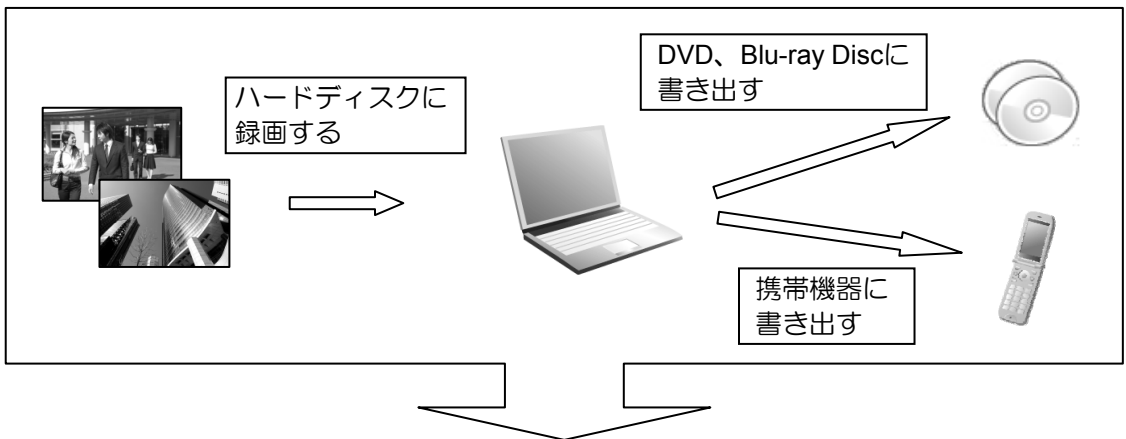
LIFEBOOKでは、アンテナに電源を供給できません。
アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有していない場合は、外付けの電源供給装置から電源を供給します。

第2章　テレビを録る

本章では、テレビ番組の録画や録画した番組の再生、ディスクや携帯機器に書き出す方法について説明します。

2.1　録画の前に

2.1.1　録画する前に考えること

このパソコンでは、次のことができます。

- テレビ番組をハードディスクに録画する
- ハードディスクに録画した番組をDVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き出す
- ハードディスクに録画した番組を携帯電話やPSP、ウォークマンなどの携帯機器に書き出す

ハードディスクに録画する前に次のことを考えておく必要があります。設定を変更する場合は、「2.1.2　録画の設定を変更する」をご覧ください。

- **画質をどうしたいか**

  きれいに録画したいのか、たくさん録画したいのかによって、選ぶ画質が変わります。

- **DVDかBlu-ray Discのどちらに書き出すか？**

  「ハードディスクに録画するときの画質」と、「書き出すディスクの種類」によって、書き出すときに選べる画質が決まります。ディスクに書き出すときのことも考えて、「ハードディスクに録画するときの画質」を設定してください。

- **携帯機器に書き出して、外でも録画番組を見たいか？**

  ご購入時の設定では、携帯機器に録画番組を書き出すことができません。書き出す場合は、録画前に、「持ち出し用ファイル作成」の設定を変更してください。

2.1.2　録画の設定を変更する

ここでは、録画の設定について説明します。

設定項目	説明
保存先ドライブ設定	録画番組を保存するハードディスクドライブを設定します。DVD、Blu-ray Discなどには録画できません。
最初に使用する 保存先ドライブ	複数のハードディスクドライブを保存先として設定している場合に、優先して保存するハードディスクドライブを設定します。
データ放送保存	番組に含まれているデータ番組のデータを保存するかを設定します。
画質モード（録画番組）	「ハードディスクに録画するときの画質」を指定します。
持ち出し用 ファイル作成	録画番組を携帯電話やPSP、ウォークマンに書き出す場合に、書き出したい外部記憶媒体や携帯機器を選択します。持ち出し用ファイルについては、「2.5　録画した番組を携帯機器に書き出す」をご覧ください。

1. テレビを起動した状態で【メニュー】を押します。
2. ‹ˆˇ›で「設定」を選択し、【決定】を押します。
3. マウス操作に切り換わるというメッセージが表示されたら、「はい」を選択し、【決定】を押します。

   この後はマウスを使って操作してください。
4. 録画番組を保存するハードディスクドライブについて設定するときは、左側のメニューで「録画／再生設定」▶「保存先ドライブ」の順にクリックします。

   設定を変更したら「適用」をクリックします。
5. 「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「持ち出し用ファイル作成」について設定するときは、左側のメニューで「録画」をクリックします。

   設定を変更したら「適用」をクリックします。
   設定がすべて終わったら「OK」をクリックして画面を閉じます。

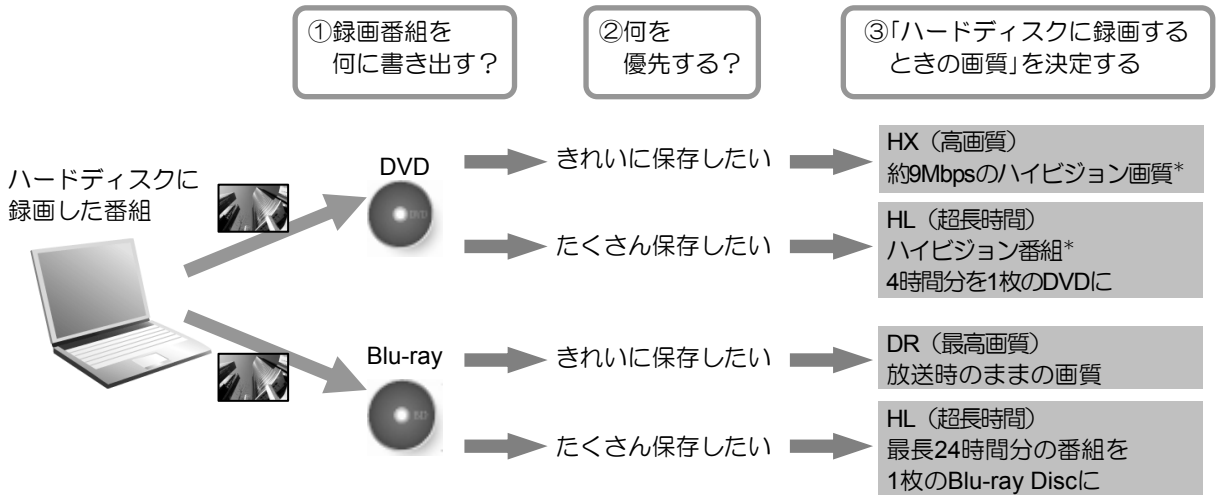
■ 外付けハードディスクを使う

このパソコンでは、USB接続した外付けハードディスクに、テレビ番組を直接録画することができます。また、外付けハードディスクにある録画番組は、そのままディスクに書き出すこともできます。
外付けハードディスクに録画するときは、「保存先ドライブ設定」や「最初に使用する保存先ドライブ」を変更してください。

外付けハードディスクに録画するときの注意

- NTFS形式に初期化（フォーマット）されたUSB2.0以上対応のハードディスクのみ、使用することができます。
- 外付けハードディスクはパソコン本体に直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、録画に失敗するなどの問題が発生することがあります。
- 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。

■「ハードディスクに録画するときの画質」の選び方

DR（最高画質）、HX（高画質）、HS（長時間）、HL（超長時間）の4つがあります。
「ハードディスクに録画するときの画質」と書き出すディスクの種類によって、書き出すときに選べる画質が決まります。ディスクに書き出すときのことも考えて、「ハードディスクに録画するときの画質」を選んでください。

*：放送が標準画質の場合、標準画質で録画されます

上記は選び方の目安です。特定の媒体（ディスク）や画質をお勧めするものではありません

ハードディスクに録画するときの仕様

ハードディスクに 録画するときの画質	DR	HX	HS [注1]	HL [注1]
ビットレート	地上デジタルHD　　　：約17Mbps 地上デジタルSD　　　：約6～8Mbps [注2] BSデジタルHD　　　：約24Mbps BSデジタルSD　　　：約11Mbps 110度CSデジタルHD：約17Mbps 110度CSデジタルSD：約6～8Mbps [注2]	約9Mbps	約4.5Mbps	約2.4Mbps
画質 [注3]	ハイビジョン(HD)			
データ形式	MPEG2-TS（音声：AAC）	MPEG4/AVC（音声：AAC）		
データ放送のデータ	設定に依存 [注4]			
番組情報のデータ	保存			
字幕放送のデータ	保存			
副音声	保存			
5.1チャンネル音声	保存			

Blu-ray Discに書き出すときの仕様

ハードディスクに 録画したときの画質	DR	HX	HS	HL

録画時に選択した画質のまま書き出し

Blu-ray Discに 書き出すときの画質	DR	HX	HS	HL
ビットレート	地上デジタルHD　　　：約17Mbps 地上デジタルSD　　　：約6～8Mbps [注2] BSデジタルHD　　　：約24Mbps BSデジタルSD　　　：約11Mbps 110度CSデジタルHD：約17Mbps 110度CSデジタルSD：約6～8Mbps [注2]	約9Mbps	約4.5Mbps	約2.4Mbps
画質 [注3]	ハイビジョン(HD)			
1枚のディスクに記録可能な時間 [注5]	約3時間	約6時間	約12時間	約24時間
フォーマット	BDAV2.0	BDAV2.1		
データ放送のデータ [注6]	設定に依存 [注4]			
番組情報のデータ [注6]	保存			
字幕放送のデータ	保存			
副音声	保存			
5.1チャンネル音声	保存			

DVDに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR				HX	HS	HL
	書き出し時に4つの画質から選択可能				録画時に選択した画質のまま書き出し		
DVDに書き出すときの画質	XP	SP	LP	ぴったり 注7	HX	HS	HL
ビットレート	約8Mbps	約4Mbps	約2Mbps	約2～8Mbps	約9Mbps	約4.5Mbps	約2.4Mbps
画質 注3	標準(SD)				ハイビジョン(HD)		
1枚のディスクに記録可能な時間 注5	約1時間	約2時間	約4時間	～約4時間	約1時間	約2時間	約4時間
フォーマット	DVD-VR				AVCREC 注8		
データ放送のデータ	削除＊				削除＊		
番組情報のデータ 注6	削除＊				保存		
字幕放送のデータ	削除＊				保存		
副音声	音声1のみ保存＊				保存		
5.1チャンネル音声	2チャンネルに変換＊				保存		

＊：　ディスクに書き出したときに、ハードディスク内の録画番組から変換や削除される項目

ー：　ハードディスクに録画された時点で存在しない項目

注1：スポーツや音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をHSやHLで録画すると、ブロック状のノイズが出たり、映像がスムーズに再生されないなどの現象が出ることがあります。
このような番組を録画する場合は、DRまたはHXで録画することをお勧めします。

注2：放送局によって異なります。

注3：放送が標準（SD）放送の場合は標準（SD）になります。

注4：「2.1.2　録画の設定を変更する」で「データ放送保存」を「ON」に設定すると、保存されます。

注5：Blu-ray Discについては、BD-R/BD-REでの録画時間、DVDについては、DVD-R/DVD-RW/DVD-RAMの片面ディスクの録画時間です。

注6：ディスク上にデータ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」または「PowerDVD」では表示されません。

注7：ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。ビットレートや記録可能な時間は、書き出す番組の時間によって異なります。

注8：この形式でDVDに書き出すと、AVCREC形式に対応していないDVDプレーヤーでは再生できません。

■ 録画番組を保存するための容量の目安

1時間分の録画番組を保存するための容量の目安です。

録画時の画質	地上デジタル放送		BS・110度CSデジタル放送		録画番組の保存先
	ハイビジョン（HD）放送	標準（SD）放送	ハイビジョン(HD)放送	標準（SD）放送	
DR	約7650MB（約7.6GB）	約3600MB（約3.6GB）[注]	約10800MB（約10.8GB）	約4950MB（約4.9GB）	ハードディスク Blu-ray Disc
XP	約4200MB（約4.2GB）				DVD
SP	約2200MB（約2.2GB）				
LP	約1400MB（約1.4GB）				
HX	約4200MB（約4.2GB）				ハードディスク DVD Blu-ray Disc
HS	約2200MB（約2.2GB）				
HL	約1400MB（約1.4GB）				

容量は、1MB =1000^2 bytes、1GB =1000^3 bytes換算値

注：　標準（SD）放送をHXで録画したとき、DRよりデータ容量が大きくなる場合があります。

■ ディスクに書き出すときの記録時間の目安

1枚のディスクに記録できる時間の目安です。

書き出し時の画質	DVD-R/DVD-RW/DVD-RAM [注1]（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）	BD-R/BD-RE（約25GB）	BD-R DL/BD-RE DL（約50GB）	BD-R XL [注2]（約100GB）
DR	―	―	約2.1時間 [注3]	約4.3時間 [注3]	約8.5時間 [注3]
XP	約1時間	約2時間	―	―	―
SP	約2時間	約3.5時間	―	―	―
LP	約4時間	約7.5時間	―	―	―
ぴったり [注4]	約4時間	約7.5時間	―	―	―
HX	約1時間	約2時間	約6時間	約12時間	約24時間
HS	約2時間	約3.5時間	約12時間	約24時間	約48時間
HL	約4時間	約7.5時間	約24時間	約48時間	約96時間

注1：	DVD-RAMの片面ディスクです。

注2：	BDXL™対応Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ。

注3：	BSデジタルHDの番組を書き出した場合の目安です。

注4：	ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。表内の時間は、1枚のディスクに最長何時間のテレビ番組を収めることができるかを示しています。なお、両面ディスクを使用した場合は、片面のみへの書き込みとなります。
・ディスクの空き容量によっては、ぴったり収まらない場合があります。
・1時間に満たないテレビ番組は、ディスクに空き容量ができる場合があります。

2.1.3　テレビ番組を録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときに注意していただきたいことを説明します。

■ 録画全般について

本体にACアダプタを接続してください

- LIFEBOOKをお使いの場合、パソコン本体にACアダプタを接続してください。
  バッテリ残量が一定量以下になると、パソコン本体が自動的に休止状態になるため、録画が失敗したり予約録画が中断する原因となります。

シャットダウン、再起動、スリープや休止状態に関する注意

- 録画中は、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。録画が失敗する原因となります。
  ご購入時の設定では、予約録画終了後にスリープや休止状態になる、または電源が切れます。
- 予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。変更すると、録画に失敗することがあります。
  ご購入時の設定から変更している場合は、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックし、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、「このプランの既定の設定を復元」をクリックしてください。

ウイルススキャンに関する注意

- 録画中は、ウイルススキャンを行わないでください。
  テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないようご注意ください。

電源ボタンに関する注意

- 録画中は、パソコンの電源ボタンを押さないでください。
  録画が中断されます。また、故障の原因となる場合があります。
  また、電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、録画予約の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画に失敗することがあります。強制終了した場合は、再度電源を入れて、（スタート）▶ シャットダウン の順にクリックし、電源を切ってください。

周辺機器やメモリーカードの取り扱いについて

- テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。
  録画に失敗する原因となります。

動画再生ソフトに関する注意

- 録画中は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種でBlu-ray Discを再生する場合は「PowerDVD」）を起動しないでください。
  録画中に動画再生ソフトを起動すると、録画番組にコマ落ちが発生するなどの影響があります。

録画したデジタル放送番組に関する注意

- ハードディスクにある録画番組は、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません。録画したパソコンでのみ再生可能です。
- ハードディスクにある録画番組は、編集や加工ができません。
  「Corel Direct DiscRecorder」を使用すると、ディスクに書き出した録画番組に対して、チャプターの追加などの編集ができます。詳しくは、「Corel Digital Studio」のマニュアルをご覧ください。
  （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Corel Digital Studio for FUJITSU」▶「ユーザーガイド」の順にクリック
  なお、対応しているディスクについては次の表でご確認ください。

形式	ディスクの種類
DVD-VR	DVD-RW、DVD-RAM
AVCREC	DVD-RW、DVD-RAM
BDAV	BD-RE、BD-RE DL

- 液晶ディスプレイへの再生表示は、ハイビジョン表示にならない場合があります。
  ハイビジョン映像は解像度変換せずに録画されますが、映像出力時に液晶ディスプレイの解像度に変換される場合があります。
- このパソコンで録画すると、パソコンのテレビチューナー固有のIDを使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、ほかの機器で再生することはできません。

■ 予約録画について

予約録画開始前の注意

- LIFEBOOKをお使いの場合、液晶ディスプレイを閉じないでください
  放熱が妨げられるため、故障の原因となります。
- B-CASカードがパソコン本体にセットされていることを確認してください。
  B-CASカードがセットされていないと、予約録画できません。
- 画面右下の通知領域にある をクリックし、 を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックした場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。
  【終了】を押すか、「メニュー」▶「待機モードへ」または、通知領域にあるアイコンから「待機モードへ」をクリックし、「DigitalTVbox」が待機状態の場合は、予約録画が行われます。
- BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を予約録画するときは、「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧になり、アンテナに電源を供給する接続や設定になっているか、確認してください。
  放送中の番組を視聴、録画するときだけではなく、予約録画するときも、アンテナ電源の供給が必要です。
- アンテナケーブルを取り外したままにしないでください。
  予約録画が失敗する原因となります。予約録画を設定した後に、アンテナケーブルを取り外してパソコン本体をお使いになった場合、予約録画開始前にはパソコン本体にアンテナケーブルを接続してください。
- 2つ以上の予約録画が連続している場合、前に予約しているテレビ番組の、最後の約1分間が録画されません。
- 録画予約時間が複数のユーザーで重ならないようにしてください。
  電源を切った状態から予約録画をする場合は、録画予約が複数のユーザーアカウントで重ならないように注意してください。録画予約時間が重複する場合は、先に予約録画が始まったアカウントの設定が優先され、他のアカウントで設定していた録画予約は実行されません。
- 「DigitalTVbox」はユーザーアカウントが「管理者」、または「標準ユーザー」となっているユーザーでのみ予約録画できます。
  「Guest」でログオンした場合、「DigitalTVbox」が起動しないため予約録画できません。
- 番組が延長された場合や、番組時間が変更された場合は、ハードディスクの空き容量が足りなくなり、予約録画が中断されることがあります。

スリープや休止状態から予約録画するときの注意

- スリープや休止状態から復帰するときとスクリーンセーバーを解除するときにパスワードを入力する設定になっていると、スリープや休止状態から予約録画ができません。
  スリープや休止状態から予約録画をするときは、次のように設定してください。
  1. （スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」をクリックし、ウィンドウ左の「スリープ解除時のパスワード保護」の順にクリックします。
  2. 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」ウィンドウで「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。

3. 「パスワードを必要としない」の○をクリックして◉にします。
4. 「変更の保存」をクリックします。
5. [×]をクリックします。
6. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
7. 「個人設定」ウィンドウで「スクリーンセーバー」をクリックします。
8. 「再開時にログオン画面に戻る」の☑をクリックして□にします。
9. 「OK」をクリックします。

電源を切った状態から予約録画をするときの注意

- このパソコンでは、録画予約をしておけば、パソコンの電源が切れていても自動的に起動して録画を開始することができます（「PowerUtility-スケジュール機能」）。
- 録画予約時刻の15分前にはパソコンの電源を切ってください。
  予約録画が始まる時間の直前に電源を切ったり、パソコンがスリープや休止状態になっていてシャットダウンされていなかったりすると、設定どおりに正しく動作しない場合があります。
- 電源を切った状態からの予約録画には「PowerUtility-スケジュール機能」を使用します。「PowerUtility-スケジュール機能」を削除すると、録画予約時刻に自動的に電源を入れたり、録画終了後に電源を自動的に切ったりすることができなくなりますのでご注意ください。
- Windowsのログオンパスワードを設定した場合は、「PowerUtility-スケジュール機能」にも、そのパスワードを設定してください。また、Windowsのログオンパスワードを変更した場合にも、「PowerUtility-スケジュール機能」のパスワード変更が必要です。設定の手順について、詳しくは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PowerUtility」▶「スケジュール」▶「PowerUtility-スケジュール機能」の順にクリックし、表示される画面で「ヘルプ」▶「使用方法について」をご覧ください。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」の「電源オフからのTV録画予約（DigitalTVbox）」が設定された状態でパソコンの電源を切り、再度電源を入れると、録画予約を設定したユーザーアカウントに自動でログオンされます。
  このとき、パソコンに複数のユーザーアカウントが登録されていても、パスワード入力画面は表示されませんのでご注意ください。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」はBIOSセットアップの「時刻による電源オン」を使用しています。「PowerUtility-スケジュール機能」を起動した後、録画のスケジュールが設定されていない場合には、Windowsの起動時にBIOSセットアップの設定が自動的に変更され、「使用しない」に設定されます。

2.2　テレビ番組を録画する

ここでは、見ている番組を録画したり、録画予約をする方法について説明します。

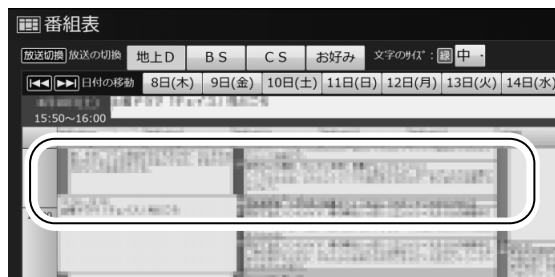
2.2.1　見ている番組を録画する

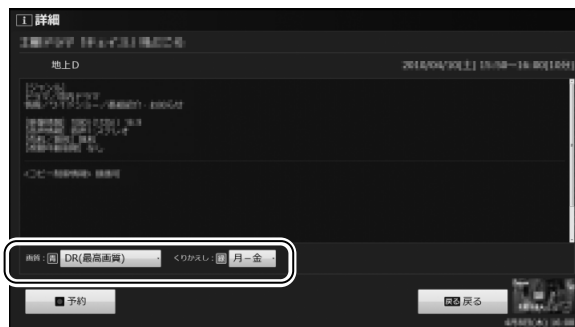
現在見ているテレビ番組を録画したいときは、次の操作ですぐに録画を開始できます。

1. **テレビ番組を視聴中に【録画】を押します。**
2. **録画を停止するときは、録画している番組を表示中に【停止】を押します。**
   - 【録画】を2回押すと「この番組終了まで」、3回押すと「次の番組終了まで」、それぞれ録画終了タイマーが設定されます。
   - マウスで操作するときは、操作パネル上の●／■を押して録画を開始・終了します。

2.2.2　録画予約する

番組表から録画予約をできます。

1. **【番組表】を押します。**
2. **‹⌃⌄›で予約したい番組を選択し、【決定】を押します。**

番組表の使い方については、「1.4　番組表を使う」をご覧ください。

3. **「詳細」画面で、【録画】を押すと、予約が登録されます。**

   - 必要に応じて、「画質」や「くりかえし」の設定を変更することができます。
     - ・くりかえし：定期的な予約録画を行う場合に録画頻度を変更します。
   - 録画予約が登録された番組は、番組表上にアイコン🕒が表示されます。

■ 録画予約を変更する

1. 【予約一覧】を押します。
2. ‹⌃⌄›で変更したい番組を選択し、【黄】を押します。
3. 【青】や【緑】を押し、‹⌃⌄›で各種設定を変更します。
4. 設定変更が完了したら、【赤】を押します。

■ 録画予約を取り消す

1. 【予約一覧】を押します。
2. ‹⌃⌄›で変更したい番組を選択します。
3. 【**0**（ゼロ）】を押します。
4. ‹⌃⌄›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

Point カスタム予約する

チャンネルと時間を指定して予約をすることで、番組表に表示されていない番組の録画予約をできます。

1. 【番組表】を押します。
2. 【メニュー】を押し、「カスタム予約」を選択し、【決定】を押します。
3. 録画の条件を指定します。

4. 設定変更が完了したら、【赤】を押します。

同じチャンネルで（18:00～18:30と18:30～19:00のように）連続した2つの番組をカスタム予約すると、録画した番組に「中断」と表示されることがあります。連続した番組をカスタム予約する場合は、1つの予約として登録することをお勧めします。

Point パソコンの時刻合わせ

パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。
地上デジタル放送を受信できる場合は、アンテナを接続しておけば自動的に時刻合わせができます。受信できない場合は、手動で時刻合わせを行ってください。時刻を合わせるときは、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「時計、言語、および地域」▶「日付と時刻の設定」の順にクリックします。設定方法について、詳しくは「日付と時刻」タブの「時計とタイムゾーンの設定方法」をクリックし、表示される説明をご覧ください。

2.3　録画した番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を再生する操作について説明します。

■ 録画番組を再生するときの注意

- 著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一録画番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、他の機器で再生することはできません。

■ 録画番組を再生する

1. **【録画番組】を押します。**
2. **〈↕〉で見たい番組を選択し、【再生】を押します。**
   番組の再生が始まります。
3. **番組の再生を終える場合は、【停止】を押します。**
   停止後の動作を選択する項目が表示されます。
4. **〈↕〉で動作を指定して、【決定】を押します。**

■ 再生中の操作

録画した番組の再生中は、リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
再生を停止する	停止 ■
一時停止する	一時停止 ❚❚
一時停止後に再生する	再生 ▶
早送りする	早送り ▶▶
巻き戻す	巻戻し ◀◀
約30秒間早送りする 注1	順スキップ ▶▶❘
約10秒間巻き戻す 注1	逆スキップ ❘◀◀

注1：スキップする秒数は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「再生」の順に選択することで、変更できます。

Point　ゆったり再生

【再生】を押すと再生速度が0.8倍となり「ゆったり再生」になります。
再度このボタンを押すと、通常の速度に戻ります。

2.4　録画した番組をディスクに書き出す

このパソコンでは、ハードディスクに録画した番組をDVDやBlu-ray Disc（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）などのディスクに書き出すことができます。ディスクに書き出す方法には、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

ダビングと移動（ムーブ）

ディスクに書き出す方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。
ダビングとはハードディスクに**録画番組を残したまま**、ディスクに録画番組をコピー（バックアップ）する機能です。
ムーブとは、録画番組をディスクに書き出した後、ハードディスクから**録画番組を削除**する機能です。

対応ディスク

DVD：CPRM対応の、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAM

Blu-ray Disc：BD-R、BD-R DL、BD-R XL、BD-RE、BD-RE DL

DVDに書き出したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーで再生できます。Blu-ray Discに書き出したテレビ番組は、「WinDVD」またはBlu-ray Discに対応したプレーヤーで再生できます。
BD-R XLは、BDXL™対応Blu-ray Discドライブを搭載している機種のみ対応しています。

このパソコンの推奨ディスクについては、『取扱説明書』の「推奨ディスク」をご覧ください。
1枚のディスクに、何時間分の番組を記録できるかについては、「2.1.2　録画の設定を変更する」の「ディスクに書き出すときの記録時間の目安」をご覧ください。

コピー制御信号の種類

デジタル放送の番組には、著作権保護を目的とした、コピー回数を制御するための信号が含まれています。この信号には、「コピーネバー」「コピーフリー」「コピーワンス」「ダビング10」の4種類があります。

コピーネバー：　ハードディスクへの録画、およびディスクへの書き出しができない信号です。

コピーフリー：　ハードディスクに録画した後、その録画番組をディスクに何回でも書き出すことができる信号です。

コピーワンス：　ハードディスクに録画を行った時点で、1回コピーを行ったとみなされる信号です。そのため、DVDなどのディスクに録画番組を書き出したい場合は、移動（ムーブ）することになります。移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画番組は自動的に削除されます。

ダビング10：　ハードディスクに録画番組を残したまま、最大9枚のディスクへの書き出しができ、最後に移動（ムーブ）を行える信号です。最後の移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画番組は自動的に削除されます。

2.4.1　ディスクに書き出すときの注意

重要　**AACSキーを更新してお使いください**

Blu-ray Discへ録画番組を書き出す場合、およびハードディスクに録画したときの画質が「DR」以外の録画番組をDVDに書き出す場合は、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化されるときには、「AACSキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACSキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法については、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

http://www.fmworld.net/aacs/

- ディスクの書き出しはリモコンで操作することができません。マウスを使って操作してください。
- ハードディスクに録画したときの画質や書き出すディスクにより、保存されるデータや、ディスクのフォーマット形式が異なりますので、注意してください。詳しくは、「2.1.2 録画の設定を変更する」をご覧ください。
- 他のソフトウェアは終了させてください。
- ディスクの書き出し中は、録画番組の視聴はできません。
- 大切な録画番組をディスクに書き出す前に、テスト用の録画番組をディスクに書き出し、お手持ちの機器で再生可能かご確認ください。
- 録画番組を書き出すディスクにデータが入っていた場合、フォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。データを削除したくない場合は、新しいディスクを用意してください。
- 状況によってディスクへの書き出しは、録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。ディスクを作成する画面に表示される「完了予測時間」を目安としてご確認ください。
- 「DigitalTVbox」で録画番組をDVD-RAMに追記する場合、録画番組のみが入っているときは、追記できます。録画番組以外のデータが入っているときは、追記できません。
- 移動（ムーブ）の途中でキャンセルした場合、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、それ以降のデータはハードディスクから削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画番組をダビングの途中でキャンセルした場合は、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が1回減ります。
- 移動（ムーブ）中やダビング中に、強制シャットダウンや、停電による電源断など不慮の事故により、パソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れにより、書き込みが中断したりした場合、移動（ムーブ）を実行した録画番組はハードディスクから一部、またはすべてが削除される場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

『取扱説明書』にも、ディスクに書き込みをするときに注意していただきたいことを説明しています。あわせてご覧ください。

2.4.2　ディスクに書き出す

1. **ディスクをパソコンにセットします。**

2. 【録画番組】を押します。

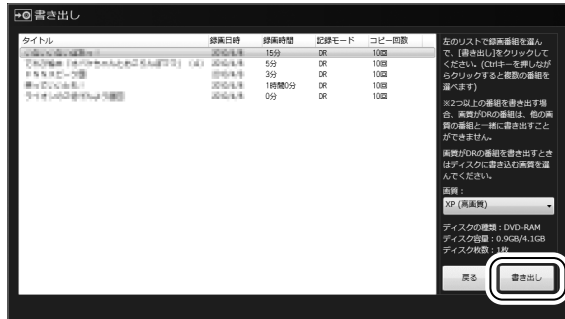
録画番組の一覧が表示されます。

3. 【メニュー】を押して表示されるメニューから、‹⬍›で「書き出し」を選択し、【決定】を押します。

4. マウス操作に切り換わるというメッセージが表示されたら、‹⬍›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

この後はマウスを使って操作してください。

5. 「使用する書き出し先を選んでください。」というメッセージが表示されたら、「書き出し先」で書き出し先のドライブを選択します。

6. 「メディアを確認しました。[次へ]をクリックしてください。」というメッセージが表示されたら、「次へ」をクリックします。
7. ディスクに書き出したい録画番組を選択し、「書き出し」をクリックします。
   - 【Ctrl】キーを押しながらクリックすると、複数の番組を選択することができます。ただし、ディスクに書き出すときに記録モードが「DR」の番組は、画質の異なる番組と同時に書き出しをすることができません。
   - 「DR」で録画した番組をDVDに書き出す場合は、書き出し用の画質を選択することができます。

「書き出しを実行すると、ダビング10または･･･」というメッセージが表示されたら内容を確認し、続行する場合は「はい」をクリックします。

書き出しが開始されます。
書き出し作業の進行状況は、画面右下に表示されます。

書き出しが終了したら、図をクリックして完了画面を閉じます。

2.4.3　ディスクに書き出した番組を再生する

ディスクに書き出したテレビ番組を再生するには、添付のソフトウェア「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種でBlu-ray Discを再生する場合は「PowerDVD」）が必要です。
「WinDVD」、「PowerDVD」について、詳しくは、各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
「Windows Media Player」やその他の市販のソフトウェアでは、Blu-ray Discは再生できません。

■ ディスクを再生するときの注意

- 書き出したテレビ番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」、「PowerDVD」では表示されません。
- お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。

- ディスクを再生する前に、他のソフトウェアを終了させてください。また、再生中は他のソフトウェアの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPUやハードディスクに負荷がかかるため、ディスクが正しく再生されない原因となります。
- ディスクの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」、「PowerDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
  より快適にディスクを視聴するために、各ソフトウェアを常に最新の状態に更新してお使いください。各ソフトウェアを更新するには、「アップデートナビ」を実行してください。「アップデートナビ」の実行方法については、『取扱説明書』の「アップデートナビを実行する」をご覧ください。
- テレビ番組を録画している間は、ディスクを再生しないでください。
  ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ディスクの再生は、録画予約が設定されていない時間帯に行ってください。
  ディスクの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。

■ ディスクに書き出した録画番組の再生

1. **ディスクをパソコンにセットします。**
2. **「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種でBlu-ray Discを再生する場合は「PowerDVD」）でディスクを再生します。**

2.5　録画した番組を携帯機器に書き出す

このパソコンでは、録画した番組を携帯電話やPSP、ウォークマンなどの携帯機器に書き出すことができます。
録画した番組を携帯機器に書き出す場合は、録画の前に録画設定の「持ち出し用ファイル作成」を設定する必要があります。設定の手順については、「2.1.2　録画の設定を変更する」をご覧ください。

2.5.1　携帯電話

録画番組は、3gp形式で保存されます。この形式の動画ファイルを再生できる携帯電話で視聴することができます。
携帯電話に録画番組を書き出すには、データ転送用ケーブルでパソコンと携帯電話を接続する方法と、SDメモリーカードに番組を書き出し、携帯電話にセットする方法があります。

■ 携帯電話に書き出すときの注意

- 携帯電話に書き出す場合、録画設定で「持ち出し用ファイル作成」を「ON（SDメモリカード）」に設定する必要があります。設定の手順については、「2.1.2　録画の設定を変更する」をご覧ください。
- データ転送用ケーブル（USBケーブル）は、お使いの携帯電話に対応したものをお使いください。

- 携帯電話をパソコンに接続する場合、携帯電話の設定が必要な場合があります。
設定や接続方法について、詳しくは各携帯電話のマニュアルをご覧ください。
- 移動（ムーブ）の途中でキャンセルした場合、データは携帯機器や外部記憶媒体に書き込まれず、ハードディスクからも削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画番組をダビングの途中でキャンセルした場合は、データは携帯機器や外部記憶媒体に書き込まれず、ダビング可能回数が1回減ります。
- DigitalTVboxではSDメモリーカードのフォーマットはできません。SDメモリーカードを使用する場合は、あらかじめ、再生する機器でフォーマットを行ってください。
- 複数のSDメモリーカードにまたがって書き出すことはできません。
- SDXCカードには対応しておりません。SDメモリーカードまたはSDHCカードをご使用ください。
- 記録時間の目安
280MBで約1時間、記録することができます。1番組につき最大2GB（約6.5時間）まで記録することができます。2GBを超えた部分は、記録されませんのでご注意ください。

2.5.2　PSP、ウォークマン

PSPに録画番組を書き出すには、USBケーブルでパソコンとPSPを接続する方法と、メモリースティックに番組を書き出し、PSPにセットする方法があります。

ウォークマンに録画番組を書き出すには、USBケーブルでパソコンとウォークマンを接続してください。

■ PSP、ウォークマンに書き出すときの注意

- メモリースティックをダイレクト・メモリースロットに差し込んで、録画番組を書き出すことはできません。マジックゲートに対応したメモリースティックライターなどをUSBコネクタに接続し、書き出してください。
- PSPやウォークマンに番組を書き出すには、録画設定で「持ち出し用ファイル作成」を「ON（メモリースティック/PSP/ウォークマン）」に設定する必要があります。設定の手順については、「2.1.2　録画の設定を変更する」をご覧ください。
- 移動（ムーブ）の途中でキャンセルした場合、データは携帯機器や外部記憶媒体に書き込まれず、ハードディスクからも削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画番組をダビングの途中でキャンセルした場合は、データは携帯機器や外部記憶媒体に書き込まれず、ダビング可能回数が1回減ります。
- DigitalTVboxではメモリースティックのフォーマットはできません。メモリースティックを使用する場合は、あらかじめ、再生する機器でフォーマットを行ってください。
- 複数のメモリースティックにまたがって書き出すことはできません。
- 記録時間の目安
220MBで約1時間、記録することができます。1番組につき最大2GBまたは6.5時間まで記録することができます。2GBまたは6.5時間を超えた部分は、記録されませんのでご注意ください。

2.5.3　携帯機器に書き出す

1. **携帯機器／SDメモリーカード／メモリースティックをパソコンに接続します。**

   携帯電話、PSP、ウォークマンは、ケーブルをUSBコネクタに接続してください。

   SDメモリーカードは、ダイレクト・メモリースロットに差し込んでください。

   メモリースティックは、ダイレクト・メモリースロットに差し込んで書き出すことができません。メモリースティックライターなどをUSBコネクタに接続し、それにメモリースティックを差し込んでください。

2. **【録画番組】を押します。**

   録画番組の一覧が表示されます。

3. **【メニュー】を押して表示されるメニューから、‹⇕›で「書き出し」を選択し、【決定】を押します。**

4. **マウス操作に切り換わるというメッセージが表示されたら、‹⇕›で「はい」を選択し、【決定】を押します。**

   この後の操作は、マウスで行います。

5. **「書き出し先」で書き出し先のドライブを選択します。**

6. **「メディアを確認しました。[次へ]をクリックしてください。」というメッセージが表示されたら、「次へ」をクリックします。**

7. 携帯機器に書き出したい録画番組を選択し、「書き出し」をクリックします。

【Ctrl】キーを押しながらクリックすると、複数の番組を選択することができます。

8. 「書き出しを実行すると、ダビング10または･･･」というメッセージが表示されたら内容を確認し、続行する場合は「はい」をクリックします。

「著作権保護された映像を取り扱うには、･･･」というメッセージが表示されたら、インターネットに接続されていることを確認し、「はい」をクリックしてアップデートを行ってください。アップデートが終了したら「完了」をクリックします。

書き出しが開始されます。
書き出し作業の進行状況は、画面右下に表示されます。

書き出しが終了したら、図をクリックして完了画面を閉じます。

第3章　困ったときのQ&A

本章では、画面表示や音声などでトラブルが発生した場合の原因と対処法について説明します。

3.1　画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するトラブルをまとめています。

番組によって映像の周りに黒い部分がある

アナログ標準放送用カメラやアナログハイビジョン放送用カメラで作成された番組の場合、映像の周囲に黒い部分が表示されることがあります。
これはパソコンの故障ではありませんので、そのままお使いください。

画面が表示されない

画面の解像度が横1024ドット以上、かつ縦660ドット以上の設定でない場合、「DigitalTVbox」は起動しません。
また、電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。
ご確認ください。

原因	ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない
対処	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」をご覧ください。

原因	電源が入っていない
対処	電源を入れてください。 詳しくは、『取扱説明書』の「電源を入れる／切る」をご覧ください。

原因	「おやすみディスプレイ」機能を使用している（ESPRIMOのみ）
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。

原因	画面オフボタンを押した状態にしている（ESPRIMOのみ）
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。

原因	「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。

DVDが再生できない、DVDの画像が乱れる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	ディスクが裏返しになっている
対処	ディスクの表裏を確認してください。

原因	ディスクが汚れている
対処	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。

原因	ディスクに傷がある、またはディスクが反っている
対処	傷ついたディスクや反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。

原因	ファイナライズされていない
対処	書き込みに使う機器やソフトウェアの種類によって、互換性に違いがあります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使った機器やソフトウェアのマニュアルなどをご確認ください。

Blu-ray Discが再生できない（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）以外のソフトウェアで再生しようとした
対処	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）でご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない
対処	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない
対処	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年11月現在）をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。

原因	地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない
対処	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	B-CASカードが正しくセットされていない
対処	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

原因	ケーブルテレビの伝送方式が対応していない
対処	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。 伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。

原因	チャンネル設定が地域と合っていない
対処	地上デジタル放送で地域を設定するとき、実際にお住まいの地域とは別の場所を設定したほうが良い場合があります。選択可能な地域の中からお近くの地域を試しに設定し、放送局とチャンネルが普段ご利用の状況に最も適合するものを選択してください。 地域の設定は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「テレビ設定」▶「地域／チャンネルスキャン」の順に選択してください。 詳しくは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」▶「DigitalTVbox取扱説明書」▶「設定」▶「テレビ設定」の順にクリックし、「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	電波が弱い
対処	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きの調整や、アッテネーター機能の設定を変更してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「1.1　テレビを見るための準備をする」の「受信レベルの確認」をご覧ください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	UHFアンテナの向きが違う
対処	デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。

原因	電波が弱い
対処	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きの調整や、アッテネーター機能の設定を変更してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「1.1　テレビを見るための準備をする」の「受信レベルの確認」をご覧ください。

原因	アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい
対処	アンテナケーブルがパソコン本体のコネクタにしっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。

原因	分配器を使用していることで電波が弱くなっている
対処	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。

原因	他のソフトウェアが動作している
対処	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ・セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ・他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない
対処	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	BS・110度CSデジタル放送用アンテナを使用していない
対処	BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタル放送用アンテナや、ブースター、ケーブルなどが必要です。 詳しくは、『取扱説明書』の「接続方法を確認する」をご覧ください。

原因	アンテナ電源が供給されていない
対処	BS・110度CSデジタル放送用アンテナを個人で設置している環境の場合、アンテナにアンテナ電源を供給する必要があります。アンテナ電源について詳しくは、「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧ください。

原因	有料放送の申し込みをしていない
対処	有料放送の番組を見るには、別途申し込みをする必要があります。 詳しくは、各放送局にお問い合わせください。

原因	B-CASカードが正しくセットされていない
対処	B-CASカードが正しくセットされていないと、BS・110度CSデジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

原因	他のソフトウェア動作中
対処	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ・セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ・他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	雨、強風などの悪天候により、アンテナが揺れたり、電波が弱くなったりしている
対処	BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱くなることがあります。天候の回復を待ってください。また、このとき録画した番組は、正常に再生できないことがあります。

原因	電波が弱い
対処	アンテナの受信レベルを画面で確認しながらアンテナの向きを調整してください。 アンテナの受信レベルの確認方法については、「1.1　テレビを見るための準備をする」の「受信レベルの確認」をご覧ください。アンテナを調整しても受信レベルが改善されない場合は、アンテナ工事業者やお近くの電気店にご相談ください。

原因	分配器を使用していることで電波が弱くなっている
対処1	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
対処2	アンテナケーブルをパソコン本体に直接接続してください。

「リカバリ」または「マイリカバリ」を実行したら、録画番組が表示されなくなった

「リカバリ」または「マイリカバリ」を実行すると、「システムリカバリーによって録画情報が消去された可能性があります。」というメッセージが表示される場合があります。
このような場合は、「はい」を選択し、「録画情報管理ツール」を起動してください。

詳しくは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」▶「DigitalTVbox取扱説明書」▶「総合目次」▶「管理する」▶「「リカバリ」や「マイリカバリ」を使用した場合」の順にクリックし、「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
総合目次で「管理する」の項目が見つからない場合は、ページを切り替えてください。

3.2　音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するトラブルをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	音量が小さすぎる
対処	リモコンの音量ボタンで音量を調節してください。

原因	パソコン本体にヘッドホンが接続されている
対処	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。

原因	USBオーディオ経由で音声を出力している
対処	「DigitalTVbox」は、USBオーディオへの音声出力は対応していません。パソコン本体のスピーカーや、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子などに接続したスピーカーを使用してください。

原因	音声出力をAACに設定している
対処	「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「視聴設定」▶「音声出力」の順に選択し、「音声出力形式」を「AAC」にしている場合、パソコン本体のスピーカーからは音声が出力されません。

雑音が聞こえる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	パソコンの近くで電波を発生する装置（携帯電話、PHSなど）を使用している
対処	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。

原因	受信できないチャンネルを選択した
対処	他のチャンネルを選択してください。チャンネルの選択方法については「1.3.1　リモコンで操作する」をご覧ください。

3.3　操作ができない

ここでは、リモコン、予約録画、双方向サービス、スリープや休止状態に関するトラブルをまとめています。

リモコンで操作ができない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	リモコンの電池が消耗している
対処	リモコンの電池を交換してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンに乾電池を入れる」をご覧ください。

原因	リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている
対処	電池には使用推奨期限が表記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。

原因	リモコンの電池が正しい向きに入っていない
対処	電池の極性（＋－）を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンに乾電池を入れる」をご覧ください。

原因	ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない
対処	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」をご覧ください。

原因	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている
対処	パソコンの向き、設置場所を変えてください。

原因	リモコンの信号をパソコンが正しく受信していない
対処	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンをお使いになるうえでの注意」をご覧ください。

原因	リモコンマネージャーが起動していない
対処	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にある（隠れているインジケーターを表示します）をクリックし、が表示されているか確認してください。表示されていない場合は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「リモコンマネージャー」▶「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域の隠れている部分に、が表示されたことを確認してください。また、パソコンのセットアップ時に「必ず実行してください」を実行していないと、リモコンマネージャーが正常に動作しないことがあります。デスクトップに（必ず実行してください）が表示されている場合は、クリックして「必ず実行してください」の処理を終了してください。

原因	リモコンマネージャーがインストールされていない
対処	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 詳しくは、Web『補足情報』の「ソフトウェア」をご覧ください。

予約録画に失敗する

次のような原因が考えられます。ご確認ください。
なお、「録画番組」画面（詳しくは、「2.3　録画した番組を再生する」をご覧ください）で番組を選択し、「録画番組詳細」画面に表示される「録画結果」もあわせてご確認ください。

原因	予約番組の前に放送されていた番組が延長され、番組の開始時刻が遅れたために、次の予約が優先された
対処	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。 予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

原因	スポーツ中継の延長や、雨天などにより、予約番組の放送が中止された
対処	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。 予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

原因	パソコンを強制終了したために、「PowerUtility」が予約時刻に起動していない
対処	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、予約録画の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画されません。強制終了した場合は、再度（スタート）▶シャットダウンの順にクリックし、電源を切ってください。

原因	通知領域のを右クリックして、「終了する」をクリックした
対処	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。画面右下の通知領域にあるをクリックし、を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックした場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。予約録画を行う場合は、【終了】を押すか、「メニュー」▶「待機モードへ」もしくは、通知領域にあるアイコンから「待機モードへ」をクリックし、「DigitalTVbox」を待機状態にしてください。

原因	ログオフ画面からシャットダウンした
対処	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。（スタート）▶シャットダウンの▶「ログオフ」の順にクリックし、ログオフ後に表示される画面からをクリックしてシャットダウンした場合は、予約を行ったユーザーでログオンが行われないため、予約録画されません。 予約を行ったユーザーでログオンし直し、ログオフしないで電源を切ってください。

原因	予約時刻にWindows Updateが行われた
対処	テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。Windows Updateの自動更新の設定は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」の順にクリックし、「設定の変更」をクリックして表示される画面で、確認、変更できます。

原因	時刻設定が合っていない
対処	「DigitalTVbox」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻を正しく設定してください。 詳しくは、「2.2　テレビ番組を録画する」の「パソコンの時刻合わせ」をご覧ください。

原因	スリープ・休止状態からの復帰ができなかった
対処	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。（スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」▶「プラン設定の変更」▶「詳細な電源設定の変更」▶「スリープ」の順にクリックし、「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているか確認してください。

デジタル放送の双方向サービスが利用できない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	利用している番組・放送がモデム接続しかサポートしていない
対処	このパソコンでは、モデム接続しかサポートしていない番組・放送の双方向サービスは利用できません。

スリープや休止状態にならない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	デジタル放送の番組情報データを取得中の状態である
対処	番組情報の取得中は、自動的にスリープや休止状態になりません。 画面右下の通知領域にある をクリックし、表示される「DigitalTVbox」アイコンが受信状態表示（ ）のとき、全チャンネルの番組情報が自動的に取得されます。受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。自動的にスリープや休止状態にする場合は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「データ放送設定」▶「自動取得／表示」の順にクリックし、「データ放送自動取得」を「OFF」にしてください。

3.4　メッセージが表示される

ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

「DigitalTVbox」でメッセージが表示される

メッセージ	放送チャンネルではないため、視聴できません。コード：E200
対処	別のチャンネルを選んで視聴してください。

メッセージ	この受信機ではこのチャンネルは受信できません。コード：E210
対処	別のチャンネルを選んで視聴してください。

メッセージ	受信レベルが低下しています。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	低階層に切り換わりました。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	信号が受信できません。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E202
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	このチャンネルは存在しません。コード：E204
対処	存在しないチャンネルが選択されています。 チャンネル番号が間違っていないか、確認してください。

メッセージ	現在放送されていません。コード：E203
対処	このチャンネルは現在、放送休止中です。 チャンネルを変えるなどして利用してください。

メッセージ	接続アンテナのショートを検出しました。アンテナとの接続を確認してください。コード：E209
対処	アンテナとパソコンの接続に問題があります。古いアンテナやケーブルを使用している場合にこのメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	センターに接続できませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。コード：E301
対処	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「インターネットに接続する」をご覧ください。

メッセージ	通信ができませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。
対処	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「インターネットに接続する」をご覧ください。

メッセージ	B-CASカードを正しくセットしてください。
対処1	B-CASカードが正しくセットされているかを、次の方法で確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。 1. B-CASカードの向き、表裏が正しいか確認します。 2. 「DigitalTVbox」を起動します。 3. 「メニュー」▶「設定」▶「情報」▶「B-CASカード」の順に選択し、20桁の数字（カードID）が表示されれば、B-CASカードは正しくセットされています。
対処2	B-CASカードをセットし直しても、20桁の数字（カードID）が表示されない場合、パソコンになんらかの問題が発生していますので、故障や修理に関する受付窓口にご相談ください。 詳しくは、『取扱説明書』の「修理サービスを利用する」をご覧ください。

メッセージ	年齢制限設定がありません。
対処	「DigitalTVbox」の年齢制限設定をしていない状態で、視聴に年齢制限がある番組を利用しようとすると表示されます。 次の手順で年齢制限設定を行ってください。 1. 「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「詳細設定」▶「視聴制限」の順にクリックします。 2. 「新規暗証番号」および「（再入力）新規暗証番号」を入力し、「登録」をクリックします。 3. 「暗証番号」を入力し、「確定」をクリックします。 4. 「視聴年齢制限」で、年齢を選択し、「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。

BSデジタル放送で、NHKの受信料支払いに関するメッセージが表示される

メッセージ	NHKと受信契約をしていない
対処	NHKと受信契約をすると、メッセージ画面が表示されなくなります。受信契約をする場合は、電話でお申し込みください。

索引

A

AACSキー 36

B

B-CASカード 7

P

PSP 40

あ

アンテナ電源 18
移動（ムーブ） 35
ウォークマン 40

か

画質モード 21
かんたん追いかけ再生 13
携帯電話 39

さ

再生する
　ディスクに書き出した録画番組の再生 39
　録画番組の再生 34
時刻合わせ 33
受信レベル 11
初回設定 8
操作パネル 14
双方向サービス 17
外付けハードディスク 22

た

ダビング 35
データ放送 17
電子番組表（EPG） 15

は

番組表 15

ま

ムーブ 35
メニュー 15
メモリースティック 40

や

予約録画
　電源を切った状態から予約録画をする 30

ら

リモコン操作 13
録画 31
録画画質 23
録画予約
　番組表で録画予約する 31
　録画予約を取り消す 32
　録画予約を変更する 32

テレビ操作ガイド
B6FJ-5731-02-01
発行日　　　2011年1月
発行責任　　富士通株式会社
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター